2)人々が育んだ歴史文化や地域特性を活かした景観形成・保全

・上越市は、様々な時代の歴史遺産と各時代の人々が育んできた文化を土壌とした都市です。

方針

- ・こうした歴史文化の精神と伝統を受け継ぎ、文化財の掘り起こしや時代のニーズに即応した文化財の保全的活用を図り、次世代に継承する先人達の英知を感じることのできる景観の醸成を図ります。
- ・また、歴史文化に加えて地形や気候に応じた地域の個性を引き立たせることが できるような景観形成・保全を誘導します。

3) 市民・事業者の意識啓発

方針

- ・「魅力ある景観」を次の世代に引き継ぐためには、景観づくりの主体となる市 民・事業者・行政の各々が景観形成における役割を理解、認識し、互いに協働 しながら景観形成に取り組むことが必要です。
- ・そのため、広報活動などを通じ、景観に対する市民・事業者の意識啓発及び参加促進を図ります。

≪意識啓発の例≫



景観情報誌 (平成 26 年度発行)





住民参加の景観セミナー(安塚・浦川原・大島地域)

(3) 周辺と調和した建築物・工作物などの誘導による景観形成・保全の方針

方針

- ・調和のとれた美しい景観を守り育てていくため、周辺の景観に配慮した色彩の 建築物・工作物の規制・誘導に、関係機関と連携しながら取り組みます。
- ・周辺環境に調和した色彩、照明、デザインなど、専門家によるアドバイザー制度により、よりよい景観づくりに取り組みます。

《取組事例:上越市環境色彩ガイドライン》

- ○上越のまちなみは温かみのある穏 やかな色調がベースとなっていま す。建築物などの色彩を考える際に は周辺で使われている色の特徴を つかみ、周辺と調和した色で建物と 建物のつながりをつくっていくこ とが大切です。
- ○周囲との調和のとれた美しい景観を守り育てていくために、規模にかかわらず建築物、工作物などの外部の色彩にかかわる行為を行う際の基調色として、推奨する色彩の範囲を定めています。



建築物や広告物の色彩は落ち着いたものを基本とします。

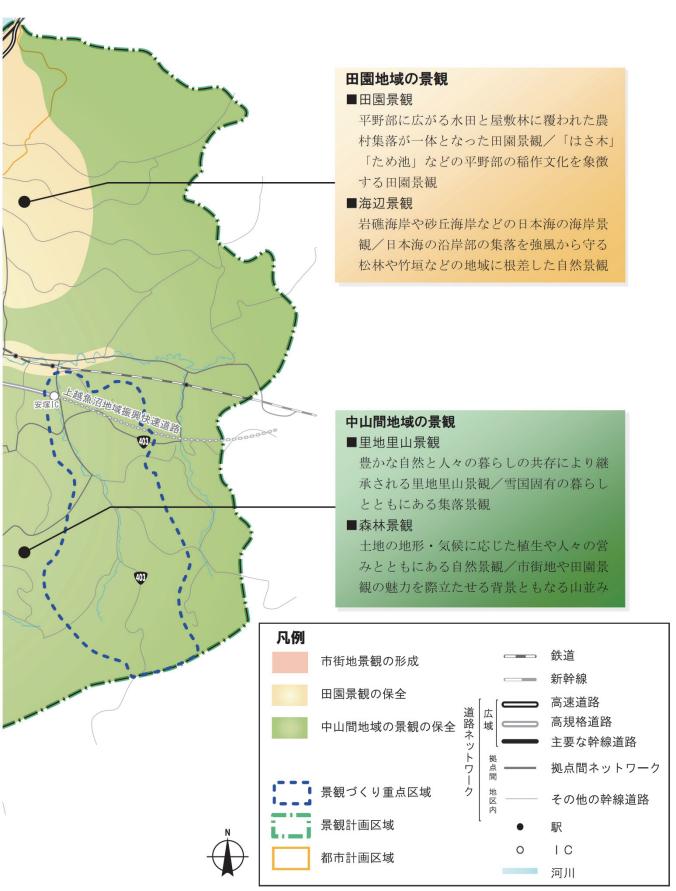


商店街などの色彩景観づくり

《取組事例:上越市景観アドバイザー制度》

○周辺環境に調和させるにはどのようなことに配慮したらよいかとの視点 から、色彩、照明、デザインなどについて、専門家によるアドバイスを 実施しています。





※道路:実線は現状 点線は計画・構想

7 都市防災の方針

- ○近年、相次ぐ風水害や雪害、土砂災害、地震などに伴い、市民生活や産業活動に多大な被害が発生しています。また、上越市でも各種災害の様々なリスクを抱えており、都市の防災に対する市民ニーズが高まっています。
- ○このような市民ニーズや東日本大震災の教訓を踏まえて、都市基盤整備により災害を未然に防ぐ「防災」対策に加え、人命の保護を最優先し、被害を最小限に抑える「減災」の視点から、ソフト*対策とハード*対策を組み合わせ、市民の安全・安心な暮らしを確保するまちを目指します。

災害を未然に防ぐ「防災」まちづくりと、人命の保護を最優先し、被害を最小限に抑える「減災」まちづくりの方針を示します。

